

年次講演会の開催にあたって

日本実験力学会 2018 年度年次講演会
実行委員長 伊藤 安海

8月27日（月）から29日（水）にかけて、2018年度年次講演会を山梨大学甲府キャンパス（山梨県甲府市）で開催いたします。現在、実行委員やオーガナイザーの方々のご協力を得ながら、有意義な情報交換の場となるよう準備を進めているところです。また、山梨大学には共催という形で支援を受け、多くの医学部教員の協力の元、併催事業「医工シンポジウム」も開催いたします。

山梨大学では、2015年ノーベル生理学・医学賞を受賞した大村智先生の功績をたたえる大村智記念学術館が2018年7月19日に完成します。この真新しい学術館の2階が特別講演や総会、医工シンポジウムの会場となる予定です。学術館は山梨大学のルーツである江戸時代の甲府学問所「徽典館（きてんかん）」をモチーフにデザインされた趣のある外観となっており、1階にはアフリカなど熱帯地域で毎年3億人を救う抗寄生虫薬「イベルメクチン」を発見した研究の紹介や、大村先生在学当時の論文、使用した実験機器を展示するコーナーが設けるほか、ワインやクリスタル、燃料電池といった山梨大学の特色のある研究成果も展示予定です。ぜひ、講演の合間にお立ち寄りください。

また、山梨大学の特色と言えばワイン科学研究センターの存在は外せません。ワイン科学研究センターは、果実酒を専門に研究するわが国唯一の研究機関として昭和22年、山梨工業専門学校附属発酵研究所として設置され、昭和25年の学制改革に伴って山梨大学工学部附属発酵化学研究施設と改称されました。わが国のワイン産業の発展に伴い、現在は世界的視野に立ち、先端的な細胞工学、あるいは遺伝子工学技術を駆使した基盤研究から最新のブドウ栽培並びにワイン醸造の実用研究までを包括する研究センターになっています。8月28日にはワイン科学研究センターを代表する研究者である柳田教授より「日本のワイン情報とワインの商品開発」の特別講演があり、続いてワイン科学研究センター見学会、その後の懇親会では山梨大学ワインをお楽しみいただく予定です。また、東京の隣接しながら星空の美しい山梨県ですので、星つむぎの村代表理事高橋真理子氏による「Space Fantasy LIVE - 宇宙と私たちのつながり」の特別講演もぜひご聴講いただき、夜はワインと夜空を楽しみながら力学談議に花を咲かせていただければ幸いです。

日本実験力学会年次講演会は、固体、熱流体、バイオ、環境、建設、エネルギーなどの広範囲な分野の研究者が活発な情報交換を行う他学会では得難い機会です。残暑厳しい折りではありますが、ぜひ本講演会にご参加頂き、皆様にとって有意義な機会として頂けることを強く願っております。甲府にて皆様をお待ちしております。



建設中の大村記念学術館



ワイン科学研究センター